1-② 化学反応の量的関係

次の文章を読み、下記の問1~問6に答えよ。原子量はO = 16.0とする。

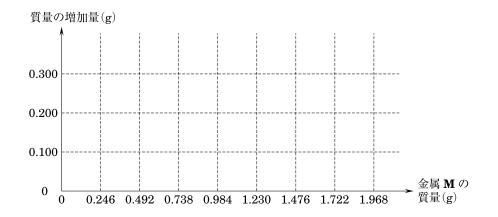
固体の金属 M は、空気中で加熱すると一種類の固体の酸化物 MO を生じる。

標準状態でP L の空気を用いて、種々の質量の金属 M を酸化し、反応完結後の質量を測定し、その結果を表に示した。ただし、空気は窒素と酸素だけの混合物とし、窒素と酸素の体積比は 4:1 とする。

\X17			
実験	金属 M の質量	反応後の質量	質量の増加量
1	0.123 g	0.153 g	0.030 g
2	0.369 g	A g	
3	0.615 g	0.765 g	0.150 g
4	0.861 g	1.061 g	0.210 g
5	1.107 g	1.377 g	0.270 g
6	$1.353~\mathrm{g}$	1.653 g	0.300 g
7	1.599 g	B g	
8	1.845 g	2.145 g	0.300 g

<表1>

問1 金属 \mathbf{M} の質量(\mathbf{g})と質量の増加量(\mathbf{g})の関係を下のグラフに記せ。



- **問2** 反応完結後に実験 $1 \sim 8$ でそれぞれ得られた固体に関する記述として、最も適当な文章を下記の $1 \sim 3$ の中から一つずつ選び、番号で答えよ。
 - ① 単体だけが存在している。
 - ② 化合物だけが存在している。
 - ③ 単体と化合物がともに存在している。
- 問3 表中のA, B について、最も適当な数値を小数第3位まで記せ。
- 問4 文章中の ア について、最も適当な数値を①~⑥の中から一つ選び、番号で答えよ。
 - ① 0.26 ② 0.42 ③ 0.53 ④ 0.84 ⑤ 1.05 ⑥ 1.12
- 問5 用いた空気中の酸素と過不足なく反応する金属 M の質量を有効数字 3 桁で求めよ。
- 問6 金属 M の原子量を有効数字 3 桁で求めよ。